

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【12月定例会】

議案審議	2
委員会審議		
文教経済常任委員会	3
総務厚生常任委員会	4～5
一般質問 4人が登壇	6～9

 池田町

VOL. **32**

令和7年2月1日発行



池田ソフトテニスクラブは、小学校低学年から大人まで楽しく練習に取り組んでいるチームです。ボールを目でとらえながら基礎的な体の動きを学びゲーム感覚で練習を体験できます。子どもの年齢やレベルに応じた練習メニューのため幅広い子どもたちが安心して参加ができ、体力やスキルを無理なく伸ばせます。お友達と一緒に楽しみながら、健康とスポーツ精神を育めます。

練習は毎週水曜日に行われ、初心者でも楽しくソフトテニスをすることができます。

12月定例会

(令和6年12月17日～20日開催)

12月定例会が12月17日から20日の4日間にわたり開催され、令和6年度一般会計および特別会計、事業会計、条例の一部改正など12議案が提出され、全議員賛成にて可決されました。

議案第64号	令和6年度池田町一般会計補正予算(第6号) …人事院勧告等に基づき、人件費、2533万9千円計上 …木質バイオマス熱供給システム建屋の実施設設計費に403万3千円の計上 …池田中部地区及び、池田海水地区の土地改良事業県負担金として775万円の計上 …有害鳥獣対策費(シカ、イノシシ)の捕獲頭数が増加に対して有害鳥獣駆除捕獲経費329万5千円の計上 …橋梁、架け替え工事の荒谷口橋(割谷地係)の護岸復旧工事に900万円の計上
議案第65号	令和6年度池田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費および、療養給付費1100万円の補正
議案第66号	令和6年度池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第2号) …人事院勧告に基づく人件費の補正
議案第67号	令和6年度池田町介護保険特別会計補正予算(第3号) …人事院勧告に基づく人件費および、介護給付費等に2263万円の補正
議案第68号	令和6年度池田町簡易水道事業会計補正予算(第2号) …人事院勧告に基づく人件費及び、固定資産の確定による調整等
議案第69号	令和6年度池田町下水道事業会計補正予算(第2号) …人事院勧告に基づく人件費及び、固定資産の確定による調整等
議案第70号	池田町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正について
議案第71号	池田町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について
議案第72号	池田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
議案第73号	池田町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について …議案第70号～議案第73号においては、人事院勧告に基づき、職員の給与や期末手当等の額についての条例改定
議案第74号	町道路線の認定について …国道417号板垣坂バイパスの完成に伴い、旧道部(1.73km区間)を町道とするため認定
議案第75号	福井県市町総合事務組合規約の変更について …構成組織の1つである越前三国競艇企業団の名称を、越前三国ボートレース企業団に変更することとなったための、組合規約の変更

11月臨時会

(令和6年11月5日開催)

11月臨時会を11月5日に開催し、2議案について全議員賛成にて可決されました。

議案第62号	専決処分の承認を求めることについて(専決第6号、令和6年度池田町一般会計補正予算(第4号)) …第50回衆議院議員総選挙及び、第26回最高裁判所裁判官国民審査に係る経費515万円を専決処分
議案第63号	令和6年度、池田町一般会計補正予算(第5号) …新庁舎・複合施設建設事業に伴う地盤改良経費653万4千円の補正 …除雪機械を新たにリースするための費用114万4千円の補正

文教経済常任委員会審議

委員長 松井靖明
副委員長 富田重弘

委員 清水龍司 岡村 祐
宇野一正 佐野和彦

一般会計補正予算(第1号)

土木費関連

佐野議員 道路維持費の建設移転補償費300万円、道路新設改良費の建設移転補償費300万円減額の具体的な内容は、

町土整備課長 対象となる建物の道路改良分に係るもの、除雪基地分に係るものを面積を按分し振り分けた。

岡村議員 今回補正計上されている橋梁のほかに、修繕未実施箇所は何箇所あり今後の修繕予定はどのようになっているのか。

町土整備課長 橋梁修繕の未実施箇所が何箇所あるかは把握していないが、5

■ 橋梁診断における判定区分 (国土交通省資料より作成)

区分	状態	
I a	健全	措置の必要がない状態
		状況に応じて措置が必要な場合がある状態
I b	予防保全段階	支障は生じていないが、措置を講ずることが望ましい状態
II	早期措置段階	支障が生じる可能性があり、措置を講ずるべき状態
III	緊急措置段階	支障が生じており、緊急に措置を講ずるべき状態

年毎に点検診断を行い現在修繕が必要な区分Ⅲの橋は、8橋ある。診断においては、

5段階に区分されており、診断結果により緊急性の高いものについては、補正予算をお願いし修繕を行い安全性を図る。

林業費関連

佐野議員 林道開設改良事業費の工事請負費が減額されているが詳細を説明願う。

木望の森づくり課長 令和6年度当初予算では、工事の進捗に必要な予算を計上していたが、内示額が800万円の減額となり、我々としては追加要望を予定していましたが、要望調査の時期が10月になったため、まじかに迫る冬期積雪も考慮し、追加要望は行わず測量委託と工事費を調整し減額補正とした。

佐野議員 減額の影響路線は、

木望の森づくり課長 滝の谷線、野尻千代谷線、大野池田線の3路線で事業量の減となった。

教育費関連

松井議員 小学校の防火シャッターが閉じたまま開かないということと修繕費を計上しているが、今も閉じた状態か。

教育委員会事務局局長代理 防火シャッターの動作確認を行った際に異常があったため、修繕を行いたい。現在は上がった状態。

池田町下水道事業会計関連

清水議員 下水道施設の無停電電源装置はどのくらい持つのか。

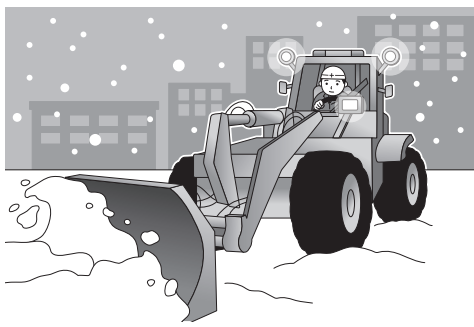
町土整備課長 概ね1日であるが、今回の装置は監視システム用の電源であり機械類の電源は、自家発電機で対応する。

佐野議員 停電時は水洗トイレは使用できないのか。
町土整備課長 家庭から流すことは可能だが、川を越すためのマンホールポンプが作動しないため極力使用を控えてほしい。

その他

岡村議員 板垣バイパス交差点から旧道は除雪しないのか。

町土整備課長 板垣バイパス交差点から集落上の車がUターンできる個所までは除雪をするがその先は行わないので旧トンネル方面へは行けない。



総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司

委員 岡村 祐 富田重弘
松井靖明 宇野邦弘

木質バイオマス関連

岡村議員 今回補正計上のバイオマス建物の実施設計測量は、年度内で完了させることができるか。繰り越し前提になってないか。

副町長 複雑な実施設計ではないため、年度内に完了予定。しかし年度終わりの忙しさがあるため、3月の段階を見て繰り越しをお願いするかもしれない。

富田議員 バイオマス設備の能力について、どのぐらいの能力を想定しているのか。

副町長 300キロワットのチップボイラーを用意して、池田町役場とあそび

ハウス、おもちゃハウスの冷暖房をまかなう前提。しかし全てを完全に賄うのではなく、ピーク時には重油ボイラーを付加的に足して、本当に足りない時に稼働させる。

丸石議員 プロポザルの範囲の話になってくるが議会としても群馬県に視察に行き機械の稼働率がネックだと伺った。どのように対策しているか。

副町長 池田町では4台のボイラーを置くことで機械の取り換えとしても運転に影響がない。年間稼働率が損なわれないような設計にした。

清水議員 バイオマス建物の向きはこの向きが一番最適か。

副町長 人事院勧告によつて超過勤務手当についても影響するのかが、総務財政課長 超過勤務手当についても一部条例改正し、影響する。

介護保険

岡村議員 居宅介護施設介護サービス費の増額は、利用者が増えたことによる増額ではなく、制度の改定での増額か。

保健福祉課長 この増額補正については、利用者増ではなく、介護報酬の改定に伴う増額見込みとなる。

清水議員 人事院勧告によつて超過勤務手当についても影響するのかが、総務財政課長 超過勤務手当についても一部条例改正し、影響する。

丸石議員 今回人事院勧告により人件費の総額はどのぐらい補正するのか。

総務財政課長 2600万円だが、物価高騰対策など国から4000万円が交付金で頂ける予定。

人事院勧告

宇野邦弘議員 一般職員に対しては4月に遡り不足分の給与を充当するところがあるが、会計年度任用職員についても同様か。

総務財政課長 今回の条例改正により、会計年度任用職員も人事院勧告により給与の不足が生じた時には、一般職に準ずることとした。

※職員に対し、社会一般の情勢に適応した適正な給与を確保する機能を有するものであり、常勤の国家公務員の給与水準を常勤の民間企業従業員の給与水準と均衡させること（民間準拠）を基本に勧告を行っている。



その他

松井議員 粗大ゴミの回収前に、委託業者以外の者が金属類を持ち去ることがあるが、町の費用負担に影響はないのか。

保健福祉課長 金属類の持ち去りによる、町の費用負担への影響は無いと考える。

粗大ゴミ回収とは別であるが、日常ゴミの回収時にも問題（通行人が不当にゴミを置いていくなど）があると聞きしている。集落の

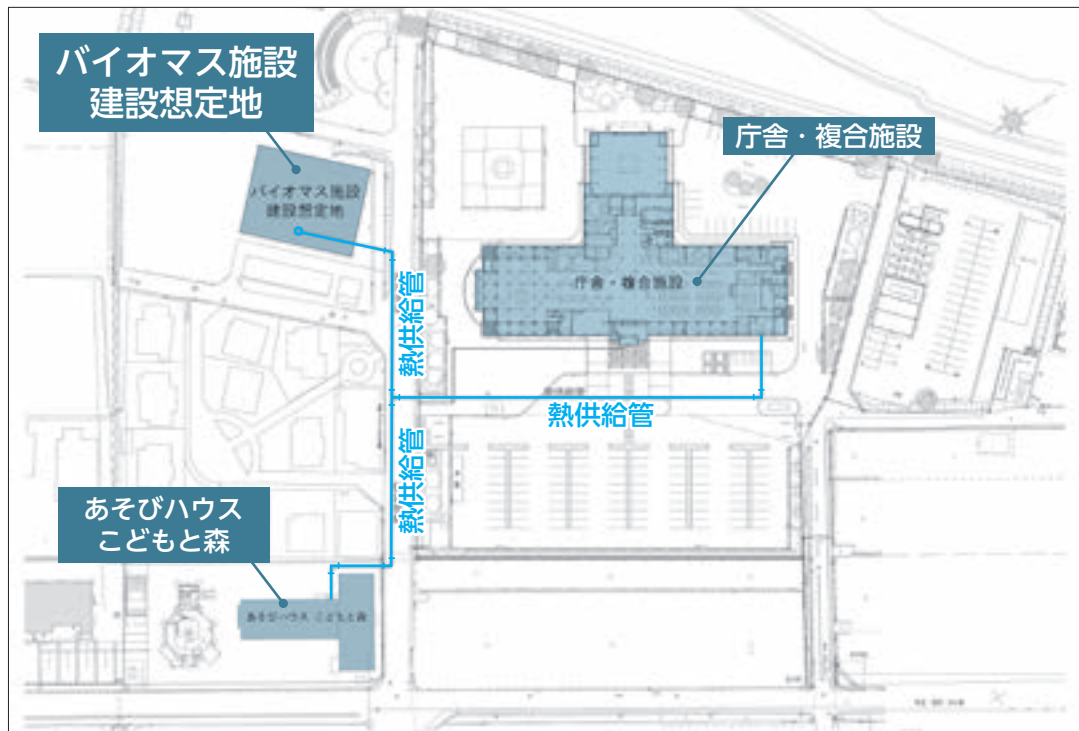


▲ごみステーション

にお湯が送れなくなるので、非常用発電機を設置した。

丸石議員 農業公社のアクリルハウスは、いつ取り壊しするつもりか。

副町長 今のところ7月ぐらいに解体を始めたいと考えている。解体後速やかに建屋建設に着工したい。



▲バイオマス施設からの熱供給予定図

方々にも協力をお願いしたい。

富田議員 地震に対する不安が広まっている。近くに安全な避難場所が必要ではないか。

総務財政課長 町の避難場としては小中学校等を避難所として考えているが、耐震工事、天井の除去、照明のLED化など実施している状況である。今後避難所の耐震化、安全性の向上が必要と考える。



宇野邦弘議員 冠山峠道路（志津原奥）の通信環境について11月5日林業事業者の労災発生時に通信不能な状態のため、対応が遅れが出て感染症にて事態が悪化したのではないか。



▲電波wifi設置

通信体制の整備はどうなっているのか。

総務財政課長 町、県も各通信会社に要望している。事故の対応については、通信中継車両の出動やドクター・防災ヘリの出動により対応した。搬送に時間がかかったのは、現場での二次災害を防ぐ対策に時間を要したとも聞いている。

冠山峠道路では、県がスポットWiFiを設置しておりその場所では通信可能である。

個所については調査を行う」との説明でした。県河川課から、「仮設県道については自己責任で通行してもらいたい」とのことでした。



足羽川ダム 対策特別委員会

委員会ではダム事務所と県河川課からそれぞれ工事進捗状況の説明を受けました。

議員から「原石山の岩石が想定より少なく、更に掘削することのだが、最終的な整地はどのようにするのか。仮設道路沿いの倒木による電線破断の危険があるが対応策を。仮設県道は冬期間通行止めになっているが、関係者が通らざるを得ない。どう対応していくのか」など質問が出されました。

ダム事務所からは、「原石山はまだ掘下げるが、掘削した後はどうするのかは検討中。倒木の危険



松井 靖明 議員

所得税の非課税 ライン引き上げに よる町への影響は

問 1995年に100万円から103万円に見直されて以降、現在までの30年間、見直しが行われず進められてきた。この間、生活環境の変化や物価等は様変わりし、所得については最低賃金が30年の間で1.73倍となつている事から103万円を1.73倍した178万円まで引き上げようとする議論がなされて

この額が引き上げられることによって、働き控への解消、会社員の基礎控除、給与所得控除が増え、結果、国民全体に手取り所得が増大する、といった嬉しい効果が期待され、昨今の物価高への対応なども含め誰もが望んでいる。

一方、地方公共団体にとっては、所得税の非課税ラインが178万円に引き上げとなると、福井県では住民税250億円、地方交付税60億円、合わせて310億円の減収との見解がなされているが、池田町においては、178万円に引き上げられた場合、どの程度の税収入に影響するのか教えてほしい。

住民税務課長

「103万円の壁」とは給与収入に対する所得税の課税基準として、基礎控除48万円と、給与所得控除55万円を合わせた103万円までの収入には所得税がかからない仕組みである。

現在、(12月定例会時点)国において、基礎控除を48万円から123万円へと引き上げ、非課税となる収入の上限を178万円とする内容にて議論されている。

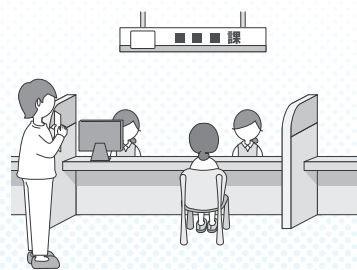
「池田町において、178万円に引き上げられた場合の税の減収額」については、町に直接納付される個人町民税が4000万円程の減となる見込みである。

次に地方交付税については、原資となる所得税については、国全体で3.6兆円ほど減少するとの試算が示されており、地方交付税にどのよ

うに影響するのは、現在、議論中であることから、減収額は分からない状態である。

「減収分の対応策」につきましては、法改正後に減収が見込まれますので、これまで以上に限りの財源をより効果的、効率的に配分していく必要があると考えている。

【意見】 所得税の非課税ラインが引き上げられることにより税収入、財政状況の厳しさが増すと推測するが、住民サービス等は低下させる事なく、スムーズな行政運営をお願いしたい。



冠山峠道路の 道路標識

問 岐阜県から冠山峠道路を通り、新板垣トンネルや松ヶ谷の方へ抜けていく車両が多くなりまして。現在死亡事故はないものの事故数は増えていきます。

町民の生命財産を守ると共に観光客の生命を守ることも大切です。山道を通り、峠を抜けて緊張がほぐれたあとでも、池田町内を安全に走行したくなるような、わかりやすい「ユーモアのある道路標識」(「当地道路標識」は作れないでしょうか?)

全国にユーモアな道路標識があり、観光客を案



清水 龍司 議員

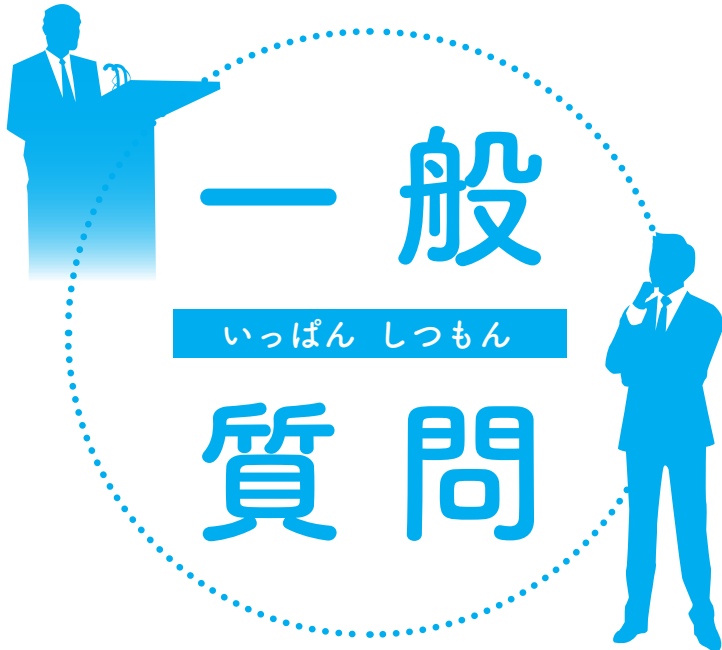


▲独自イラストの警戒標識例「ユーモアのある道路標識例」

「「当地道路標識」がどのようなものか、私にはよく理解できないため、お答えに苦慮しております。」「「当地道路標識」がどのようなものか、私にはよく理解できないため、お答えに苦慮しております。」「「当地道路標識」がどのようなものか、私にはよく理解できないため、お答えに苦慮しております。」

一般質問

いっばん しつもん



町民の安全対策
アイデアはどこへ
伝えれば?

問 町民が制限速度対策や事故対策等のアイデアを持つている場合、(417号線の場合は福井県知事となりますが)道路管理者に直接提案をした方が良いのでしょうか? それとも池田町へ

町民の安全対策
アイデアはどこへ
伝えれば?

問 町民が制限速度対策や事故対策等のアイデアを持つている場合、(417号線の場合は福井県知事となりますが)道路管理者に直接提案をした方が良いのでしょうか? それとも池田町へ



町民の安全対策
アイデアはどこへ
伝えれば?

問 町民が制限速度対策や事故対策等のアイデアを持つている場合、(417号線の場合は福井県知事となりますが)道路管理者に直接提案をした方が良いのでしょうか? それとも池田町へ

他、マイナ保険証について質問を致しました。
マイナンバーカード、マイナ保険証でお困りの場合、まずは住民税務課までお知らせ下さい。

【町土整備課長】 まずは池田町へご相談ください。まずはお問い合わせください。その後、ご相談の内容に応じて関係機関に対し相談・要望を行ってまいります。

次に「要望完了通知はされるのか」との件につきましては、地元区からいただいた要望が実現した場合でも、要望完了通知という形で個別にお知らせする仕組みは設けておりません。

ただし、要望実現のために必要な工事等を実施する際には、必要に応じて地元区長をはじめ、関係する方々に事前にお知らせすることとしております。



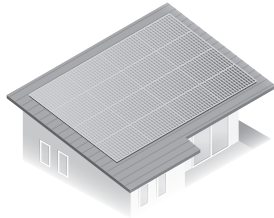
宇野 邦弘 議員

脱炭素先行地域になぜ、選定されなかったのか

問 今回、環境省への脱炭素先行地域指定団体として池田町も申請したが選定されなかった。全国46団体が申請し9団体が選定されたとのことだが、池田町の申請が不採択になったのは何が足りなかったのか。議会での「ここだけの話」という点も含めた説明はあったが、住民への周知や下からの盛り上げていく点で弱点もあったのではないかと。再申請についてのスケジュールについてはどうなのか。

答 副町長 脱炭素先行地域は、100団体まで指定する予定で、現在82団体が選定されている。池田町は最終審査まで残ったが、残念な結果になった。申請内容は、数田から志津原までの5集落をモデル的な地域に設定し、融雪型太陽光パネル、バイオマスボイラーによる新庁舎への空調利用など豪雪地帯の課題解決と脱炭素を組み合わせた観点から一定の評価があった。関係集落への説明と賛同も経て申請した。

環境省から不採択通知では、職員の体制の弱さの指摘はうけた。来年2月上旬の次の申請をどうするのかは検討中。いずれにせよ、脱炭素実現ビジョンに基づき地域の再生可能エネルギーを活かしたエネルギーを自給自足できる循環型社会を進めていきたい。



広報誌のあり方

問 広報いけだに載せる記事と、町のホームページに載せる記事関連性について、どのような連携をとっているのか。

答 総務財政課長

「広報いけだ」に掲載する記事については、全戸配布されること、何回も読み返すことができることから、特に町民に對し必要な情報、例えば、町の予算や、実施している事業の詳細な内容等を中心に掲載している。掲載するかしないかの判断は、発行責任者である総務財政課が行っており、基本的には、各課から依頼のあったものや、



丸石 純一 議員

納税サイトを利用された件数と金額は11件19万円、役場窓口や郵便での納付は9件79万5千円、県の共同窓口納付は1件10万円、合計は21件108

会計年度職員給与と改定も正規と同様4月遡及に

問 4年前に始まった会計年度任用職員制度のもとで、町の正規職員65名に對し、フルタイム会計年度任用職員が20名にもなっている。総務省は制度開始時「試験なしで再任用できる回数原則2回」としていた。今年6月の通達で上限を撤廃した。

町のフルタイム会計年度職員の任用年数や対応はどうなっているのか。現在、環境まちづくり、行政施設設置管理など4名の公募をしているが、新たな業務を進めるためなのか、雇止めによるものなのか。公募の対象は専門性を伴うものであ

り、正規雇用が当然でないのか。

答 総務財政課長 池田町では回数の上限はこれまでも設けず、待遇について国の勧告を踏まえて雇用の安定に努めている。フルタイムの会計年度任用職員の継続年数は現在5年目が13名、4年目3名、2年目3名、1年目1名となっている。給与と改定については会計

短期保険証相当の方にも資格確認書を

問 トラブル続きのマイナ保険証一本化によって、国民健康保険の期限を切った短期保険証の制度自体がなくなった。今までの短期保険証該当者や、今後高くて払いたくても払えず滞納せざるを得ない加入者に資格確認書を届けるのか。

答 保健福祉課長

マイナ保険証があってもなくても、従来の短期証相当と判断される場合も納付意思の確認ができれば資格確認証を交付する予定。マイナ保険証を持たない短期証相当の方は短期証の有効期限が切れる前に納税等の相談に来てほしい。

古民家再生補助事業の復活を

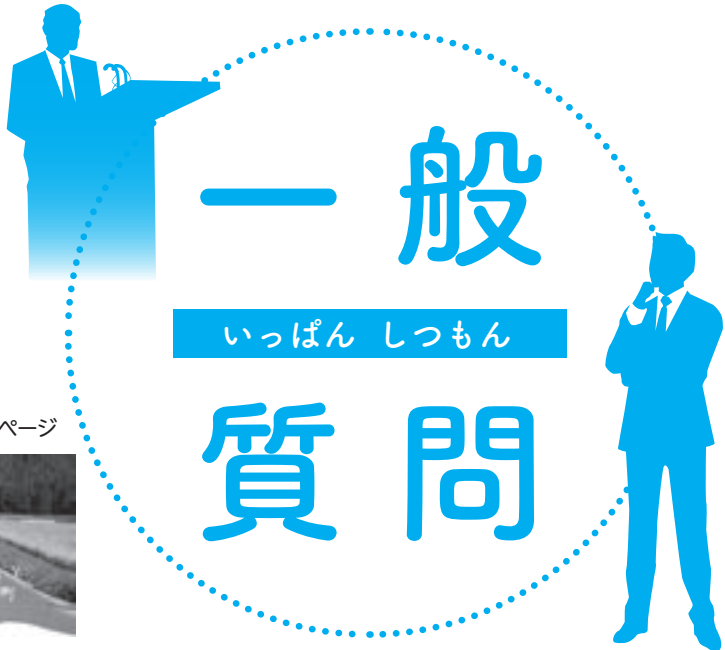
問 公共下水道に接続してない空き家を購入した方から、「加入金以外に定の負担があるとは聞いたが、ここまでとは。これでは他の人も安心して移住できない」との訴えを聞いた。対応策はないのか。上下水道整備への補助も含め、廃止された古民家改修補助制度を復活を求めたい。

各集落の空き家状況の調査結果はどうなのか。空き家の有効活用、あるいは危険家屋の問題などどう対応しようと考えているのか。

答 総務財政課長

3〜7月の間に各集落の区長さんを行った調査結果は、管理されていない空き家は125棟、そのうち、老朽空き家は17棟。古民家等再生支援事業等については、現在考えていない。

一般質問 いっぱん しつもん



◀ ikeda部ホームページ

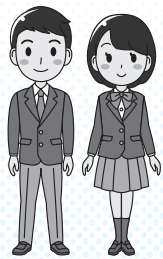
池田町独自の奨学支援制度

問 高校や大学に進学し、学業やスポーツが優秀な子や親への支援制度や、将来池田町で就職を希望された場合への奨学金の返済支援制度について、町独自の無利子貸付から返還不要など様々な意見や視点をいれながらもぜひとも検討することはできないか。

答 町長

中高生徒に対する奨学等支援事業の創設については、社会課題ともなっている各種業界において人材確保に對しても寄与できるような検討したいと考えている。最近の

光、飲食など多くの業界とともに中小零細企業において深刻さを増している。また地方においても一段と厳しい状況。また町内においても、役場においても同様な諸状況にあると認識している。単純な経済的奨学支援のみで町内あるいは県内の人材事情の改善を図ることが出来るのか、不安と疑問を感じますが、私といたしましては何かしらの県内、町内就業への規約の整備、企業等への企業承継、後継者確保支援事業と併せながらの人的育成人材育成支援事業の創設について検討したいと考える。



先生方からは、池田町への訪問前と後では生徒たちが成長した姿がはっきり見られる。ふるさと納税制度を活用した支援制度により、課題であ

答 総務財政課長

ふるさと納税の実績についてですが、現在の納税サイトを利用された件数と金額は11件19万円、役場窓口や郵便での納付は9件79万5千円、県の共同窓口納付は1件10万円、合計は21件108

返礼品つきふるさと納税

問 現時点において、返礼品つきふるさと納税開始に伴い、寄付額の動きは、前年に比べどのような状況になっているのか。

答 総務財政課長

ふるさと納税の実績についてですが、現在の納税サイトを利用された件数と金額は11件19万円、役場窓口や郵便での納付は9件79万5千円、県の共同窓口納付は1件10万円、合計は21件108

今後地域の方や、団体などから返礼品付きふるさと納税について出品意欲の要請などあった場合はどのような対応をしようのか。

答 総務財政課長

ふるさと納税の実績についてですが、現在の納税サイトを利用された件数と金額は11件19万円、役場窓口や郵便での納付は9件79万5千円、県の共同窓口納付は1件10万円、合計は21件108

池田町議会視察研修報告

脱炭素の取り組み先進地でもある群馬県の川場村、上野村の視察研修に11月18・19日に行ってきました。いずれも過疎が進む山間地の村です。池田町との環境の違いはありますが、池田町での脱炭素プロジェクトを進めるうえで大いに参考になり、今後の議員活動にも活かしていきたいと考えます。

■ 群馬県 川場村

川場村は、自治体縁組をしている東京都世田谷区の小学5年生が毎年6,000人も農山村研修に訪れる村で、数年前より脱炭素めざして木質バイオマス発電と熱利用にも組んでいます。

バイオマス発電は、チップ製造・乾燥施設・小型発電など、低コストで取り組んでいます。

今日まで必ずしも順調でなく、チップの大きさや乾燥度合いなど苦勞の連続だったということです。

発電設備の消耗部品の交換や日々のメンテナンスが大変だったが、担当者のいろんな工夫のもとでようやく安定した運転稼働が可能になってきたとのことでした。



▲木質チップ製造施設

担当の方は「専門ではなかったが、担当になってから試行錯誤の連続です。バイオマスの有効活用のため、発電だけでなく熱利用のキノコ栽培なども取り組み、住民の理解と賛同を得ながら進めています」と語っていました。



▲バイオマスボイラー

■ 群馬県 上野村

上野村は、すでに脱炭素先行地域に指定されている人口1,100人の自治体です。総面積の95%を占める森林の有効活用のためバイオマス発電を選択し、ペ



▲上野村役場前にて

レット製造を始め、村営住宅や公営施設でのペレットストーブ設置を皮切りに個人住宅での設置も広めてきています。ペレットの品質には四苦八苦しており、材料となる薪の選定や集材についても、杉100%だとタールが出すぎ、また広葉樹だけだと稼働率が下がるなど問題も多く、カラマツとスギの組み合わせが今のところ一番安定しているとのことでした。

伐採後の天然更新の実証実験もおこなっていますが、伐採エリアが年々遠くなる等の問題もあるとのことでした。

担当の方は「ペレット製造施設の維持費やバイオマスの発電経費は相当かかるが、地元経済への還元なども大きく、地域の活力になっている」と熱意を語っていました。



一般国道417号 板垣坂バイパス開通

令和6年11月24日(日)板垣坂バイパスの開通式が行われました。

これまでは急カーブ、急勾配が連続する約6.1kmの区間が、新板垣トンネルも含め約3.5kmと短縮されたバイパスの完成により、安全に通行できるようになりました。

令和5年11月の一般国道417号冠山峠道路の完成と併せ、観光、経済の交流が進むことを期待しています。



議 長	発行責任者	委員	委員	委員	副委員長	委員長
		宇野 一正	丸石 純一	富田 重弘	岡村 祐	清水 龍司

議会広報特別委員会



編集後記

能登半島地震から1年が経過いたしました。被災された皆様がお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

今回の議会では人事院勧告や新庁舎のバイオマスボイラー建屋の実施設計を中心に論議しました。刻一刻と変わる外部環境において、長期的、総合的な視点で今後の池田町にとってベストな選択をしていると思えるように、広報委員会としても議会での意見や討論をなるべく皆さんに共有し、期待にこたえられることができるよう、本年も力を尽くしてまいります。

(丸石純一)